



田植えの季節も終わり、小さかった稲もすくすくと育ってきました。このまま無事に実りの秋を迎え、五穀豊穡となることを願っています。津軽豊年祭「お田植祭」では、地域一体となって取り組んでいる姿を拝見し、これからも伝統を守り続けて欲しいと思っています。

### 5月14日 春の全国交通安全運動に伴う早朝街頭指導

5月11日から5月20日までの10日間、春の全国交通安全運動が展開されました。

これに伴い、5月14日、五所川原駅前を中心に早朝街頭指導を実施し、交通ルールの遵守を呼びかけました。

最近、全国各地で痛ましい交通事故が発生しており、改めてその悲惨さを痛感しています。

交通事故を防ぐためには、それぞれの心がけが何よりも大切ですので、交通ルールを守っていただきますようお願いいたします。



### 5月23日 水害に対する危機管理能力向上研修

5月23日、東京都の砂防会館において、水害に対する危機管理能力向上研修が開催され、東北の私を含め、北海道から九州まで全国各地から9名の首長が参加しました。

研修では、各自治体の取り組みを紹介し意見交換をするラウンドテーブルをはじめ、豪雨時の対応事例や対応力強化について学びました。

近年、ごく狭い範囲に短時間で強い雨が降る局地的な大雨が増加しており、予想が難しいことに加え、短時間で避難する必要があることから、より迅速・的確な対応が求められています。

今回の研修を通じ、豪雨災害のすさまじさと災害対応力強化の必要性を改めて感じており、今後に役立てていきたいと思っています。



### 5月25日 津軽豊年祭「お田植祭」

5月25日、山王坊日吉神社において、津軽豊年祭「お田植祭」が執り行われました。

お田植祭は、田植えを楽しくする方法として、田植歌を歌いながら作業をするという風習が、田の神を祀って豊穡を願う農耕儀礼と結びついて祭礼となったと言われています。

中里高校、市浦小中学校、みどりの風こども園あとむをはじめ、子どもから大人まで、たくさんの地域の皆さんが協力し、一つになっている姿は、超高齢化社会において、たいへん意義深いものと思っています。

また、弘前大学の留学生の皆さんも地域の歴史、伝統文化を学ぶために参加し、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



## 有限会社羽藤商事、森羽紙業株式会社と災害時支援協定を締結



協定を締結した岡田社長(羽藤商事)(右)、長谷川社長(森羽紙業)(左)、佐々木市長(中央)

有限会社羽藤商事、森羽紙業株式会社と本市との間で結ばれた災害時支援協定の締結式が5月20日、本庁舎庁議室で執り行われました。

本協定は、災害発生時に、市が指定避難所を開設した際に必要となる段ボールベッドをはじめとした段ボ

ール製品や、避難所における衛生面、生活面の確保に必要な日用品等の供給を速やかに受けられるよう、必要な事項を定めたものです。

災害発生以前の平常時においても、相互の連絡体制や物資の供給等についての情報交換を行いながら、いざという時に効果的な防災・減災活動が実施されるよう、引き続き連携を図っていきます。



災害発生時に使用される物資等